

内科基本研修プログラム

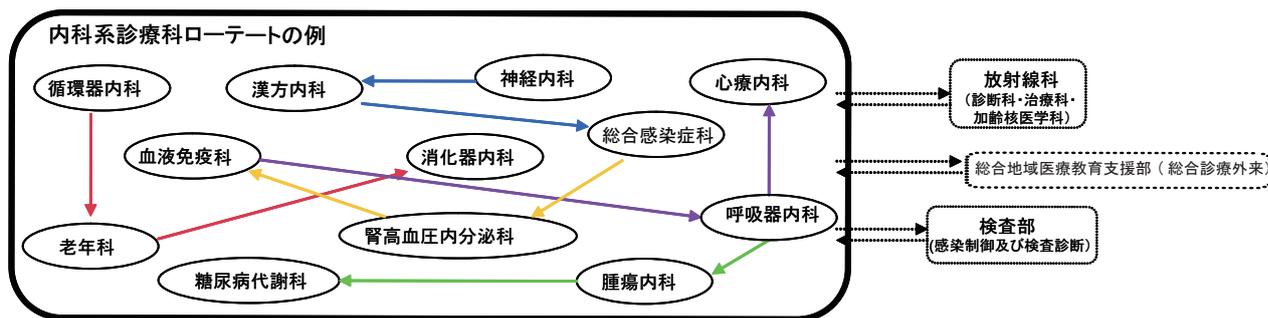
基本理念

東北大学病院の「内科基本研修プログラム」は、臨床医として必要な基本的技法、知識を身につけ、患者とその背景を理解し、医療チームの一員としての自覚をもって、安全で質の高い医療を実践できるための基本能力を習得することに重点を置いています。

■プログラムの実際

診療科

◆循環器内科 ◆総合感染症科 ◆腎・高血圧・内分泌科 ◆血液・免疫科 ◆消化器内科
◆糖尿病代謝科 ◆老年科 ◆漢方内科 ◆心療内科 ◆呼吸器内科 ◆腫瘍内科 ◆神経内科



- ・東北大学病院の内科系12診療科（上記）から3診療科を選び、2か月ずつローテーションします。（3診療科の選択は自由ですが、研修内容に偏りのないよう診療科を選択するよう心がけてください）
- ・ローテーションの順序は研修医の希望を基本としますが、卒後研修センターで調整を行うことがあります。
- ・複数の指導医が診療指導にあたり、きめ細かい研修指導を行います。
- ・内科カンファレンスなどで、積極的に参加・発表する機会を持てます。
- ・放射線や検査部を利用し、放射線診断・治療、臨床検査、各種感染対策の実際にも参加可能です。
- ・上記の診療科をローテーション中であっても、「Half day back*」により、総合診療外来で外来診療のトレーニングを集中的に行うことができます。
- ・研修内容については、各診療科の指導医で構成される連絡会内で話し合い、診療科間の連絡を密にとり、広い領域の診療が経験できるようにします。
- ・内科検討部会で研修医の要望や感じられる問題点を話し合い、内科研修が円滑に行われるよう調整します。

■プログラムの特徴

- ・内科系全般を広く経験し、学べるようにデザインされています。
- ・研修医の選択幅が広く、各個人の目的・意向を重視した、フレキシブルな内容になっています。
- ・「Half day back*」により、外来診療の研修が可能です。
- ・症例発表のしかたや症例報告の書き方などを十分学べるように指導を行います。

* Half day back とは…

- ・ローテーションしている診療科のスケジュールに余裕のある特定の曜日の、午前、総合診療外来で新患者さんを相手に診療を行い、臨床診断技能を向上させます。
- ・午後は各診療科に戻り、入院患者さんを専門領域の指導医の元でじっくりと診療できます。

《総合診療外来の特徴》

- ・主に紹介状を持たずに大学病院を受診された患者さんの初診および、担当の診療科、院外施設等が決まるまでの検査や治療を含めた経過観察を行います。
 - ・多様な症状、病態、疾患の患者さんが受診しますので、プライマリ・ケアの訓練に適しています。
- 実例：22回の参加で研修医の経験すべき疾患項目（皮膚科、小児科、眼科を除く）の37%を体験。